

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行なってください。

お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。縦樋を取付けない側に使用してください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にはゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4 ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - ※φ5 ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

表示マーク



14延長を
施工の場合



「14延長」または「縦連棟」
を施工の場合



耐積雪で
施工の場合



耐風圧で
施工の場合



シーリング
箇所

梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】前枠補強材		員数	
名称	略図	R用	F用
前枠R補強材		1	
前枠F補強材			1

【2】後枠補強材		員数	
名称	略図	R用	F用
後枠R補強材		1	
後枠F補強材			1
【2-1】φ5×13 ナベドリルネジ		8	8
取付説明書	—	1	1

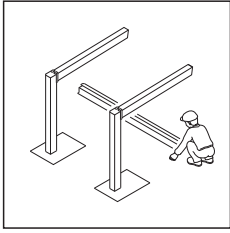
チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	シーリング箇所は漏れなくシーリングを実施しましたか？	<input type="checkbox"/>

前柵補強材の取付け

■ 前柵補強材の取付け(柱内側移動・耐積雪・耐風圧の場合)

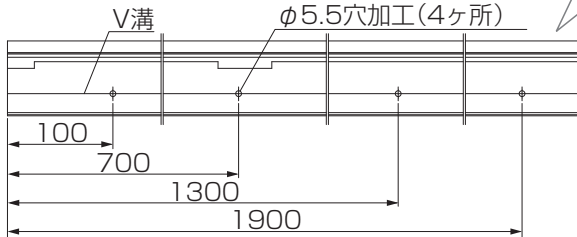
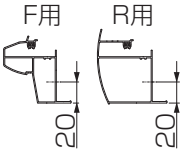


- ①前柵の側面にφ5.5の穴加工を行なってください。(4ヶ所)
- ②前柵補強材の側面にφ4.5の穴をあけてください。
- ③前柵補強材を前柵へ差込み【2-1】で取付けてください。

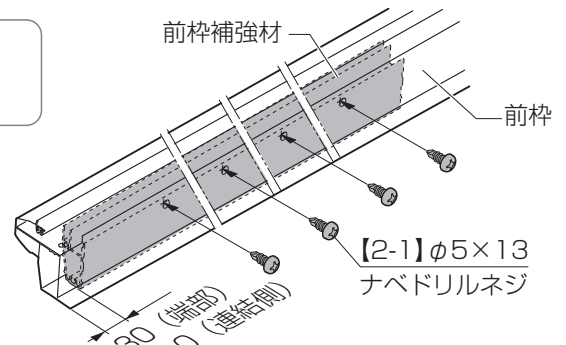
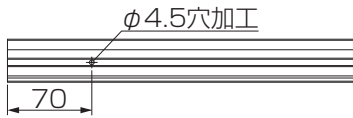
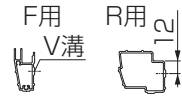
お願い

柱内側移動の場合は移動側を加工・取付け
耐風圧、耐積雪の場合は両側を加工・取付け

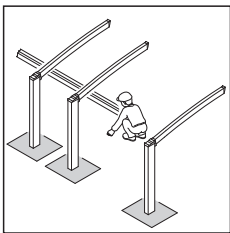
【前柵】



【前柵補強材】



■ 前柵補強材の取付け用の穴加工(耐積雪・耐風圧の場合)

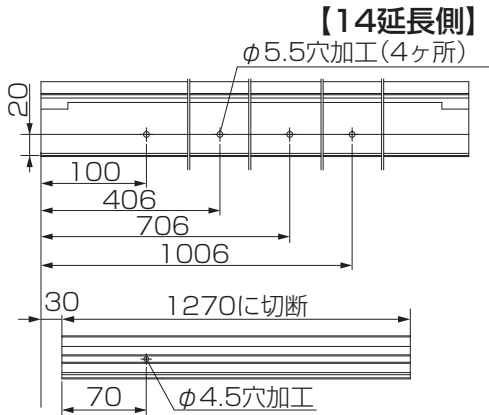
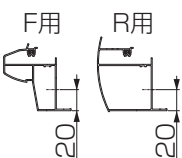


【耐積雪】
【耐風圧】の場合の作業です。

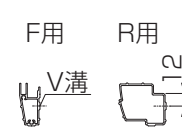
- ①前柵・前柵補強材を加工してください。

□ 14延長(耐積雪・耐風圧)の場合

【前柵】

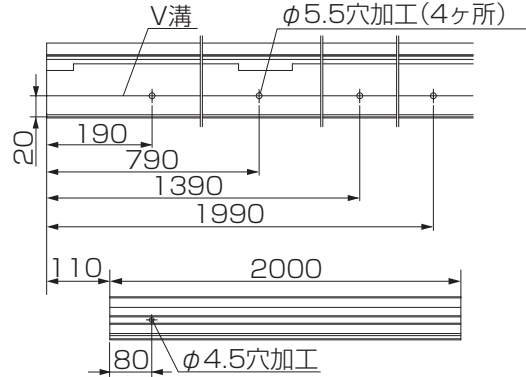


【前柵補強材】



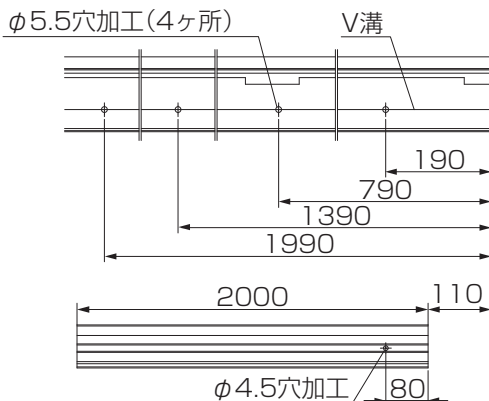
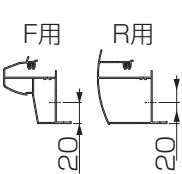
【基本本体側】

連結部



□ 縦連棟(耐積雪・耐風圧)の場合

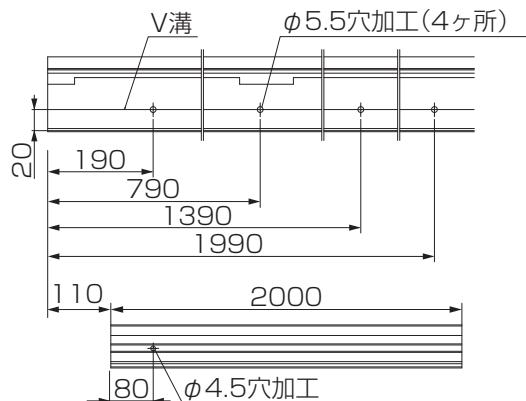
【前柵】



【前柵補強材】

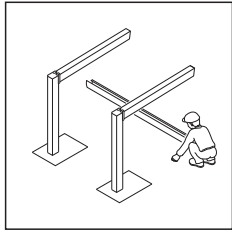


連結部



後枠補強材の取付け

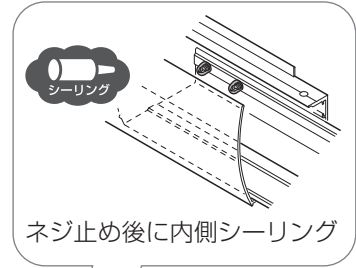
■ 後枠補強材の取付け(柱内側移動・耐積雪・耐風圧の場合)



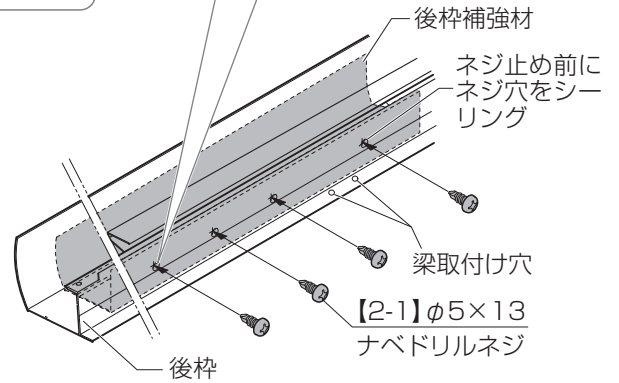
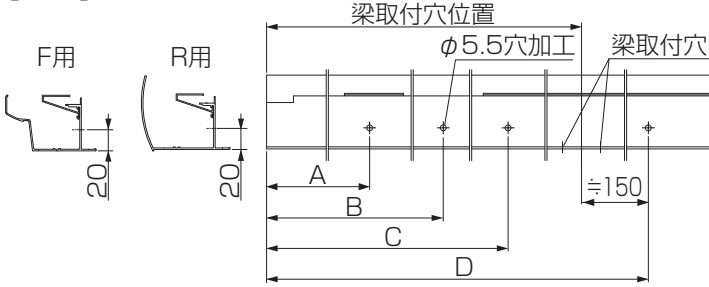
- ①後枠の側面にφ5.5の穴加工を行なってください。(4ヶ所)
- ②後枠補強材の側面にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ③後枠補強材を後枠へ差込み、穴にシーリング材を充てんしてから【2-1】で取付けてください。
- ④後枠内のネジ部にシーリング材を充てんしてください。

お願い

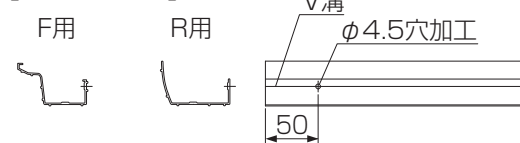
柱内側移動の場合は移動側を加工・取付けてください。
耐風圧、耐積雪の場合は両側を加工・取付けてください。



【後枠】



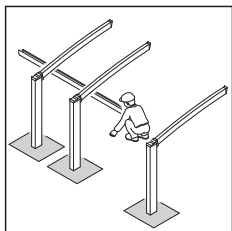
【後枠補強材】



	A	B	C	D	基本梁取付穴位置
L50	571	771	971	1171	1021
L54	672	872	1072	1272	1122
L57	724	924	1124	1324	1174

※柱内側移動をする場合は移動距離分取付位置を変えてください

■ 後枠補強材の取付用の穴加工(耐積雪・耐風圧の場合)

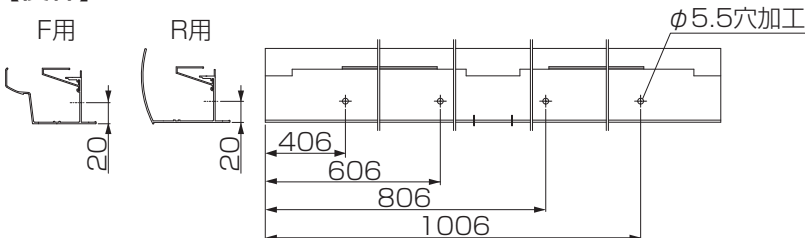


14延長 で 耐積雪 耐風圧 【耐積雪】 【耐風圧】 の場合の作業です。

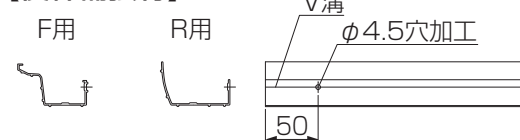
- ①後枠・後枠補強材を加工してください。

□ 14延長の場合

【後枠】



【後枠補強材】



取説コード
EXM-068

JZZ638167A
202211_1049
202311A_1049